

概要版

～第2期 鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略～



ひとが元気！まちが元気！
「未来につながる健康都市 かのや」

1 計画策定の趣旨

人口減少社会が本格化する中で、社会情勢の変化や直面する様々な課題に対し、実施する施策の方向を明らかにするとともに、市民と行政の協働によるまちづくりを総合的かつ計画的に進めていくため、「第2次鹿屋市総合計画（第2期鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」を策定するものです。

2 計画の位置付け

市民一人ひとりが鹿屋市で暮らし、生きていくことに誇りと幸せを感じることができるよう、まちづくりの将来像と目指すべき基本目標や重要業績評価指標（KPI）を市民と共有し、共に考え行動するための計画とします。

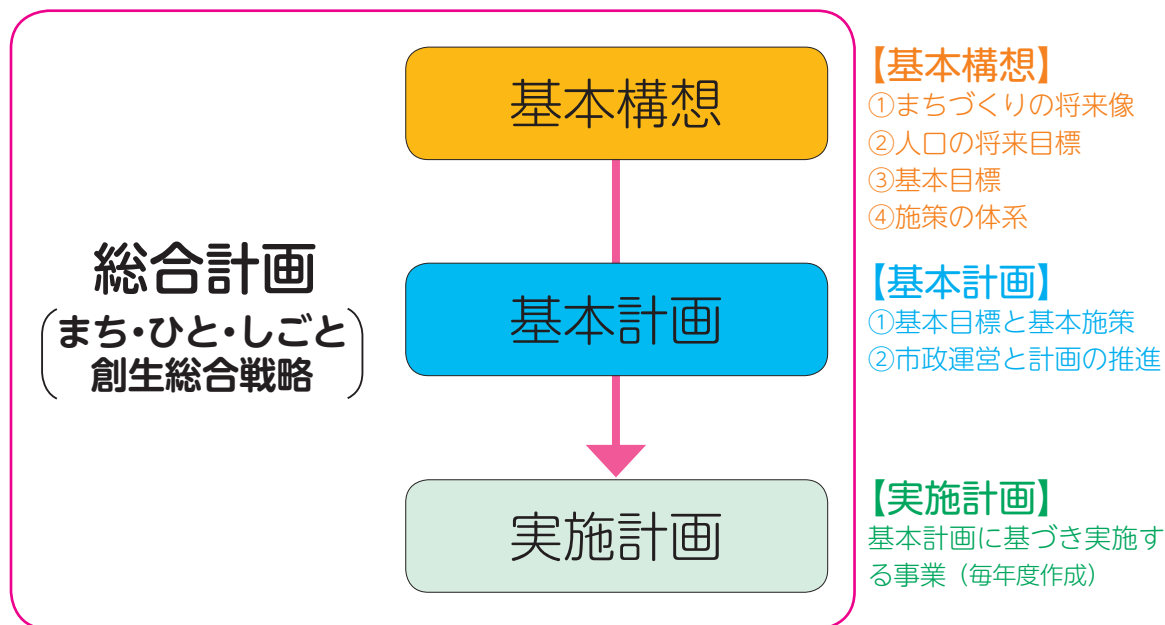
また、本計画は、以下の3つの役割を持っています。

- 市政の総合的な経営指針となる最上位の計画
- 市民と行政が共有し、協働でまちづくりを行うための行動指針
- 鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略を兼ねる計画

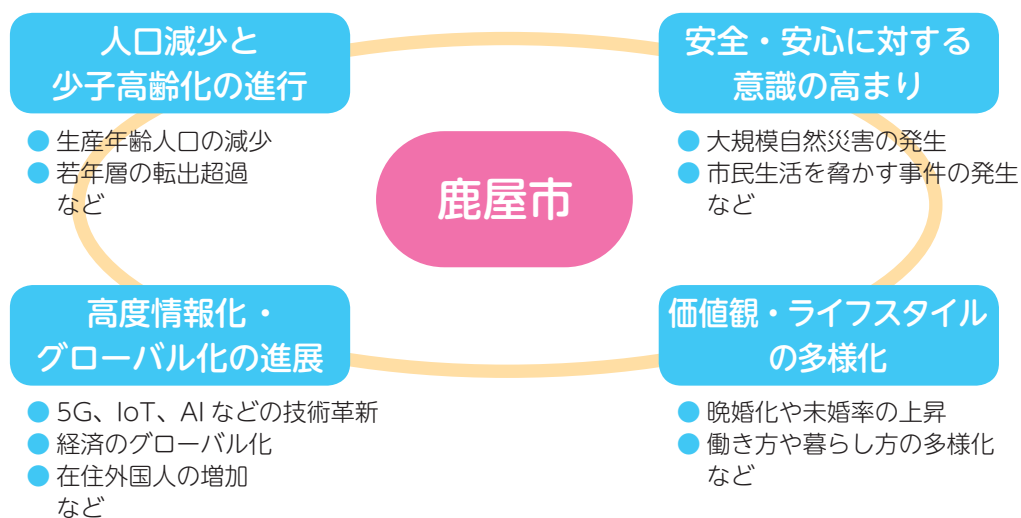
3 計画の期間

2019年度から2024年度までの6年間とします。

4 計画の体系



5 鹿屋市を取り巻く環境



6 鹿屋市の特性

国内有数の農林水産業地帯を形成

さつまいも、茶、園芸作物などの農業や養豚、肉用牛などの畜産業、カンパチやウナギなどの水産業において、高い産出額を誇る食料供給基地を形成



豊かな自然や多様な観光資源

鹿児島湾（錦江湾）に面した美しい海岸線や雄大な高隈山系などの豊かな自然、かのやばら園や輝北天球館、串良平和公園、吾平山上陵などの多様な観光資源



健康・スポーツに関する機関等が集積

鹿屋体育大学や国立大隅青少年自然の家、県民健康プラザ健康増進センターなど、健康・スポーツに関する特色ある機関・施設等が集積



都市機能が集積する大隅地域の拠点都市

県内各都市や空港・港湾等をつなぐ国道の結節点であるほか、国・県の機関や商業施設、文化・教育施設、医療・福祉施設等が集積



7 まちづくりの将来像

ひとが元気！まちが元気！ 「未来につながる健康都市 かのや」

市民（ひと）にとって、いつまでも元気で、生き生きと活動できることが幸せであり、地域や産業の活性化につながり、元気なまちをつくることになります。

『ひと』と『まち』が『元気』であることを基本とし、鹿屋市の明るい未来づくりのため、市民一人ひとりが、ぬくもりと豊かさを実感できる『健康都市 かのや』を目指していきます。

8 人口の将来目標

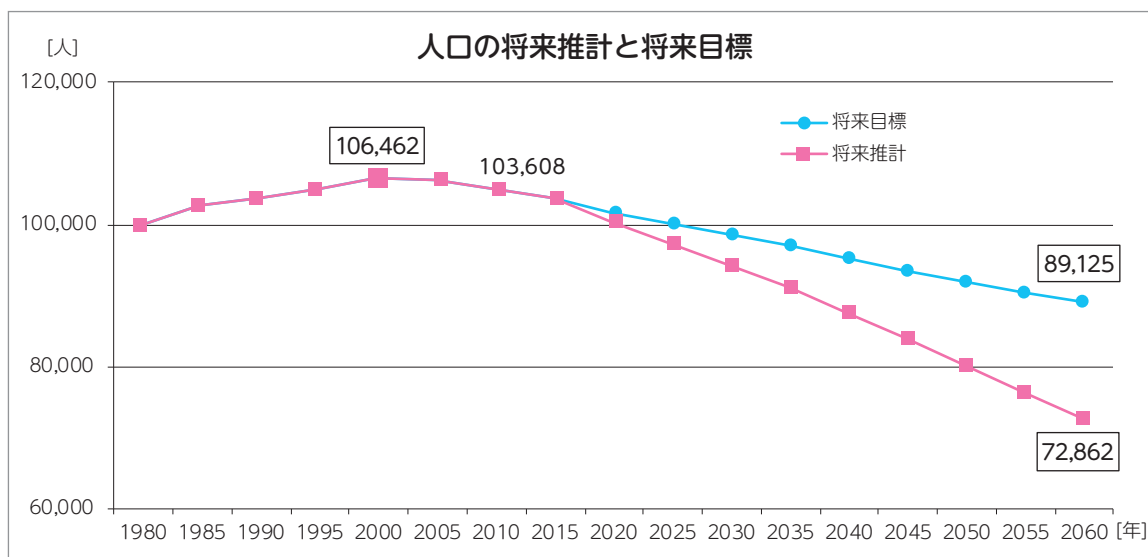
『2060年に9万人程度の人口を維持する』

●自然増減

合計特殊出生率が2030年に2.1となるよう段階的な引き上げ、その後一定。

●社会増減

2020年までに人口移動が均衡し、以後は状態を維持。



資料：鹿屋市「鹿屋市人口ビジョン（各年10月1日現在）」

数値目標	基準値	目標値
鹿屋市の人口〔各年10月1日現在〕 （鹿児島県「人口移動調査（推計人口）」）	102,397人 (2018)	100,500人 (2024)
合計特殊出生率	1.93 (2008～2012平均)	2.05 (2018～2022平均)
社会増減（転入者－転出者）〔年〕	△321人 (2018)	0人 (2020～2024)

9 基本目標と基本施策

基本目標 1 やってみたい仕事ができるまち

基本施策① 活力ある農林水産業の振興

基本施策② 商工業の振興と雇用の促進

基本目標 2 いつでも訪れやすいまち

基本施策① 地域資源を生かした観光の推進

基本施策② スポーツによる交流の推進

基本施策③ 移住・定住の推進

基本目標 3 子育てしやすいまち

基本施策① 子育て支援の充実

基本施策② 未来につながる教育の充実

基本目標 4 未来につながる住みよいまち

基本施策① 快適な生活基盤づくりの推進

基本施策② 安全で安心な生活の実現

基本施策③ 自然環境にやさしいまちづくりの推進

基本目標 5 とともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

基本施策① 地域福祉の充実

基本施策② 健康づくり・生きがいづくりの推進

基本施策③ 共生協働・コミュニティ活動の推進

基本目標 1

やってみたい仕事ができるまち

基本施策①

活力ある農林水産業の振興

農業の担い手の確保・育成

農林水産業の経営体制の強化

みんなで進める農業・農村振興

環境にやさしい農業の展開

まもり・育てる林業の推進

- 2015年に策定した「かのや農業・農村戦略ビジョン」に基づき、基幹産業である農業の発展を図ります。
- 担い手の確保・育成を推進するとともに、地域資源を生かしたブランド化や6次産業化を促進し、安定した経営の確保を図ります。
- 農地集積や生産基盤強化、地域に適した安全・安心で付加価値の高い農畜産物の生産拡大、ICTやIoT技術を活用した農作業の省力化・生産性向上を図ります。
- 農業の生産基盤となる農地や農業用水等の資源を適切に管理しつつ、地域ぐるみの活動を支援し、農村社会の活性化による農業・農村の持つ多面的機能の維持、発揮を図ります。
- 森林の適切な管理・施業を推進するとともに、多面的機能を発揮した林業の成長産業化を図ります。
- 養殖業者等の経営安定、水産物の販路拡大の取組を推進し、魅力ある水産業の振興を図ります。

家畜防疫対策の強化

鳥獣被害対策の充実

農地の有効利用の促進

高付加価値化と販路開拓・拡大

生産基盤の強化による生産性の向上

つくり・育てる水産業の推進

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
認定農業者（個人）の1人当たり平均農業所得〔年〕	3,867千円 (2014～2018の5年平均)	4,200千円 (2019～2023の5年平均)
認定農業者（法人）の経営体数 〔各年4月1日現在〕	117経営体 (2018)	150経営体 (2024)
農業産出額（耕種＋畜産＋その他） 〔年〕	4,313千万円 (2016)	4,200千万円 (2022)
主要林産物生産額〔年度〕	49千万円 (2012～2016の5年平均)	69千万円 (2024)
漁業水揚げ〔年度〕	397千万円 (2014～2018の5年平均)	417千万円 (2024)

基本施策②

商工業の振興と雇用の促進

中小企業の振興

就業の支援

- 鹿屋商工会議所やかのや市商工会、通り会、地域住民と連携し、空き店舗の活用やにぎわいの創出に取り組み、活気あふれる商店街づくりを図ります。
- 創業支援機関と連携し、経営支援体制や金融支援の充実のほか、鹿屋市産業支援センターを中心に起業者の育成を図ります。
- 誘致企業への継続的支援に取り組むとともに、食品やスポーツ・健康関連など本市の特性を生かした産業の集積を行い、雇用機会の創出を図ります。
- 各種制度や市内企業の情報を提供し、若者の地元就職や UI ターン者の就業を支援するとともに、労働環境改善に向けた啓発を行います。また、ICT を活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方を支援します。

商店街の活性化

企業誘致等の推進

勤労者福祉の充実

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
創業支援等事業による創業件数〔年度〕	41 件（2017）	50 件（毎年度）
立地企業の従業者数〔各年 4 月 1 日現在〕	2,818 人（2018）	2,900 人（2024）



図の説明

= 基本的方向

= 具体的施策

基本目標 2

いつでも訪れやすいまち

基本施策①

地域資源を生かした観光の推進

観光 PR の充実

多様な地域資源 を生かした ツーリズムの 推進

- 観光物産フェア等の実施や SNS の活用などにより情報発信を強化し、本市の認知度向上と外国人を含む県内外からの観光客の増加を図ります。
- 霧島ヶ丘公園、かのやばら園の魅力向上や市の花である「ばら」を生かした PR 活動に取り組み、「ばらのまち かのや」づくりを推進します。
- 観光施設の通信環境の整備や多言語化、設備の充実等に取り組み、観光地としての魅力向上を図ります。
- 体験プログラムや周遊ルートの開発に取り組み、農林漁業や戦争遺跡など、特色ある地域資源を活用した誘客を図ります。
- ふるさと会やふるさと納税寄附者など、市と多様に関わる人（関係人口）の増加を図ります。
- 近隣市町や民間事業者等との連携を強化し、広域的な観光振興を図ります。

魅力ある 観光地の形成

関係人口の 増加につながる 施策の展開

観光分野における 広域・官民連携の 強化

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (2017)	目標値 (2024)
入込客数 [年度]	1,321,472 人	1,500,000 人
宿泊者数 [年度]	244,029 人	250,000 人



基本施策②

スポーツによる交流の推進

スポーツ合宿
・大会の推進

ホストタウンの
取組

- 地域が持つ優位性を生かしながら、スポーツによる交流人口の増加を図り、「スポーツのまちなかのや」づくりを推進します。
- スポーツ関連資源の活用や受入体制の充実により、スポーツ合宿等の推進を図ります。
- サイクルイベントの開催や自転車を利用しやすい環境の整備を進め、「自転車によるまちづくり」を推進します。
- スポーツを核としたホストタウン相手国との交流を推進します。
- かがしま国体・かがしま大会の開催を通じた交流人口の増加を図ります。

自転車による
まちづくりの
推進

「かがしま国体
・かがしま大会」
の開催による
地域活性化

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (2017)	目標値 (2024)
スポーツ合宿者数 [年度]	18,878 人	25,000 人
スポーツイベント参加者数 [年度]	5,849 人	11,000 人



基本施策③

移住・定住の推進

移住・定住者
への支援体制の
充実

関係人口の
増加につながる
施策の展開 (再掲)

- 住居や仕事に関する情報提供に加え、UI ターンや新規就農に関心がある地方移住希望者など、地域外の多様な人材に対して積極的な情報発信を行い、本市への移住・定住を推進します。
- 若年層向けの就労支援など、ターゲットを絞った支援策を構築するとともに、移住者のニーズに合わせた助成制度の充実を図ります。

農業の担い手の
確保・育成
(再掲)

就業の支援
(再掲)

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
相談窓口を経由した移住者数 [年度累計]	82 人 (2015 ~ 2017 の 3 年間)	300 人 (2019 ~ 2024 の 6 年間)

基本目標 3

子育てしやすいまち

基本施策①

子育て支援の充実

産み育てやすい
医療体制の充実

妊娠期から
出産期における
支援の充実

母子保健活動の推進

- 妊娠期から出産・子育て期まで切れ目ない支援の充実を図ります。
- 安心して妊娠・出産ができるよう、産科医療体制の充実に努めます。
- 安心して出産・子育てするための環境整備や相談対応・各種健診事業の実施など、子育て支援策の充実を図ります。
- 保育需要の増加等に対応するため、入所受入環境の整備に努めます。
- 妊産婦健診や子どもの予防接種費・医療費の助成、就学支援等による子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

子育て支援策の推進

保育需要に
対応するための
環境整備

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（2024）
子育てに対する環境や支援に満足している市民の割合〔市民意識調査〕	65.1% (2018)	75.0%
18歳以下の子どもの数 〔各年10月1日現在〕	19,696人 (2017)	19,550人



基本施策②

未来につながる教育の充実

学力と資質を
育む教育の推進

鹿屋女子高等学校
の活性化

安全・安心な
学校給食の提供

- 次代を生きぬく学力や体力、資質、郷土愛を育む教育を推進するとともに、英語教育などの本市の特色を生かした教育を充実させることで、国際化社会で活躍できる人材を育成します。
- 安全で快適な学校施設や ICT 環境整備など、多様な学習活動等に対応した学校環境の充実を図ります。
- 社会に貢献できる人材を育成するため、鹿屋女子高等学校や鹿屋看護専門学校において、教育内容等の充実を図り、魅力ある学校づくりを推進します。
- 学校給食に関する環境を整備するとともに、安全・安心な学校給食の提供及び食育を推進します。

豊かな心と
健やかな体を
育む教育の推進

国際化社会で
活躍できる
人材の育成

学校教育環境の
充実

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024)
標準学力検査 (NRT) 結果における全国との比較 (※全国の偏差値を 50 としたもの)	小学校平均 50.5 中学校平均 48.4 (2018)	小中学校ともに 平均 52.0 以上
体力・運動能力調査結果における全国との比較 (※全国の偏差値を 50 としたもの)	小学校平均 49.8 中学校平均 48.3 (2018)	小中学校ともに 平均 52.0 以上
小中学校における不登校児童・生徒の在籍率 [各年度 3 月末現在]	1.23% (2017)	1.00% 未満

確かな学力

知識や技能のほか、自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力

生きる力

豊かな心

自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性

健やかな体

たくましく生きるための健康・体力



基本目標 4

未来につながる住みよいまち

基本施策①

快適な生活基盤づくりの推進

コンパクトな
まちづくりの
推進

市街地中心地域
の活性化

治山・治水
対策の推進

道路・
橋りょう等の
整備と適切な
維持管理

基地対策の充実

高度情報通信
基盤の整備

- 中心市街地エリアにおいては、都市機能の集積と利便性を一層高め、良好な居住環境の形成を図り、まちなかへの居住の促進、周辺地域への地域拠点等の形成により、それらが連携する多極ネットワーク型コンパクトシティを推進します。
- リナシティかのやについては、これまでの活用状況等を踏まえ、市街地中心地域の活性化に資する施設としての活用を図ります。
- 既存の路線バスの維持・確保を行うとともに、くるりんバスの利便性の向上や交通不便地域における新たな支線交通導入の検討を進めます。
- 浸水・冠水被害の軽減に向けて、河川の治水対策や市街地内の雨水排水対策を推進します。
- 各種インフラの長寿命化を図るとともに、人口減少社会に対応した効率的な整備を行っていきます。
- 航空機騒音対策の実施や米軍訓練移転を含む海上自衛隊鹿屋航空基地での訓練の安全性の確保などを関係機関に要請していきます。
- 快適なインターネットサービスを誰でも、どこからでも利用できる通信環境の整備を進めます。

適正な土地利用
の推進

公共交通の充実

良質な住環境の整備

上水道の安定供給

下水道等の整備

ICT人材の
育成及び ICT
利活用の推進

重要業績評価指標（KPI）	基準値（2017）	目標値（2024）
くるりんバス及び乗合タクシーの利用者数〔年度〕	36,210 人	46,000 人
リナシティかのやの利用者数〔年度〕	294,268 人	350,000 人
光ブロードバンド加入率 〔各年度 3 月末現在〕	24%	40%
汚水処理人口普及率 〔各年度 3 月末現在〕	71.5%	81.0%

基本施策②

安全で安心な生活の実現

消防・防災 対策の充実

空き家の適正管理 の推進

消費者行政の推進

- 消防団員の確保に努めるとともに、指定避難所等の市民への周知や防災活動が積極的に行われるよう支援します。
- 犯罪の起きにくいまちづくりに取り組むとともに、交通ルールの遵守や安全対策を進めます。
- 空き家の所有者等に対して適切な管理の必要性を周知し、管理不全状態に陥ることを防止します。
- 消費生活相談体制の充実と消費者被害の未然防止のための啓発を行います。
- 関係市町や鹿屋市医師会、民間医療機関等と連携した医療体制の維持確保に努めます。

防犯・交通 安全の推進



医療体制の充実

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024)
交通事故死傷者数 [年]	399 人 (2018)	385 人
防災出前講座参加者数 [年度]	377 人 (2017)	600 人

基本施策③

自然環境にやさしいまちづくりの推進

地球温暖化 への対応

畜産環境 対策等の推進

- 鹿屋市環境基本計画に基づき、市域全体のエネルギー使用量と温室効果ガスの削減を図ります。
- 肝属川の水循環環境の改善や不法投棄の防止を通じて、未来にわたって豊かな自然と生活環境の保全を図ります。
- 環境への負荷が少なくなるよう、ごみの減量やリサイクルの推進を行い、循環型社会の形成を図ります。
- 臭気対策資材の利用促進等を行い、畜産環境対策を推進します。

自然環境の保全



ごみ減量・ リサイクルの 推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (2017)	目標値
一人当たりごみ排出量 [年度]	843g/ 日	780g/ 日 (2024)
肝属川の環境基準 (BOD) [年度]	3.2mg/ ℓ	3.0mg/ ℓ 以下 (毎年度)

基本目標 5

ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

基本施策①

地域福祉の充実

包括的相談
支援体制の構築

生活困窮者
自立支援の充実

在宅医療と
介護の連携

- 身近な生活圏において、市民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる支え合いの地域づくりを進めます。
- 複合化・複雑化する様々な相談等を包括的に受け止める相談体制を構築し、誰もが安心して暮らせる総合的な支援を図ります。
- 障害のある人が、自らの能力を最大限発揮し、自己実現できるよう支援します。
- 2025年問題にも対応していけるよう、認知症施策の推進や在宅医療と介護の連携を図り、高齢者が充実した生活を送ることができるよう支援します。

障がい者・
障がい児福祉
の充実

成年後見制度の
利用促進

認知症施策の充実

介護サービスの提供

重要業績評価指標（KPI）	基準値（2017）	目標値（2024）
高齢者の運動サロン等への参加人数〔年度〕 ※住民主体の運動サロン（1回1時間以上）に週1回以上参加	107人	3,000人
地域支え合い活動を行っている市民団体数〔各年度3月末現在〕	179団体	250団体



基本施策②

健康づくり・生きがいづくりの推進

スポーツ環境
づくりの推進

国際交流の推進

市民文化の振興

介護予防の
推進と高齢者の
生きがいづくり

- ライフステージに応じたスポーツ活動の促進や「する」「みる」「ささえる」スポーツ活動の推進に取り組みます。
- 新たな生涯学習基本構想を策定し、生涯学習環境の充実に努めます。
- 豊かな人間性を育む心の教育を進めるため、学校・家庭・地域が一体となった社会教育の充実に努めます。
- 鹿屋市民族館などの国際交流資源を活用して、誰もが住みやすい環境づくりや人材育成などに努めます。
- 伝統芸能の保存・継承に向けた広報・啓発活動の推進に努め、保存・継承活動を通じた市民のふれあいの場の提供に努め、伝統文化への理解を深めます。
- 市民の健康に関連する7つの領域について、数値目標とスローガンを掲げて健康づくりに取り組みます。

鹿屋体育大学
と連携した
地域活性化

競技スポーツの推進

生涯スポーツの推進

生涯学習・
社会教育の
推進

健康寿命の延伸

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024)
介護認定率 [各年度 3 月末現在]	20.4% (2017)	18.5%
スポーツ実施率 [市民意識調査] ※成人が週 1 回以上実施	39.9% (2015)	65%
生涯学習講座等参加者数 [年度]	2,445 人 (2017)	2,500 人
高齢者の運動サロン等への参加人数 (再掲) [年度] ※住民主体の運動サロン(1回1時間以上)に週1回以上参加	107 人 (2017)	3,000 人

基本施策③

共生協働・コミュニティ活動の推進

人権の尊重と
男女共同参画
の推進

- 人権教育・啓発活動について関係機関との連携を図り、互いの人権を尊重し合う平和な社会の実現に取り組みます。
- 市民に最も身近な町内会活動の活性化や地域の課題を解決するためのコミュニティ協議会の設立等を推進し、共生・協働によるまちづくりを目指します。

地域コミュニティ
の構築・充実

地域支援体制の充実

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024)
社会全体において男女が「平等である」と感じる人の割合 [市民意識調査]	14.9% (2017)	20.0%
町内会加入率 [各年 4 月 1 日現在]	72.2% (2018)	73.0%
地域支え合い活動を行っている市民団体数 (再掲) [各年度 3 月末現在]	179 団体 (2017)	250 団体

「やってみたい仕事ができるまち」の取組イメージ

地域に根ざした新産業構造の構築

1 時代に対応できる農林水産業の高付加価値化

(1) 水利用による 高収益作物の生産

◎畑地かんがい事業の通水効果を生かした高収益・新規作物の生産振興

(2) 農地の有効利用

◎輪作体系の確立による農地の有効利用
◎耕作放棄地の活用

(3) 地域6次産業化の推進

◎大隅加工技術研究センターや野菜・食肉加工施設等の有効活用
◎地域の関係者が専門分野の役割を担う6次産業化の推進

(4) 食品流通の川中・川下の要望への対応

◎大ロットや定品質、多様な加工（カット等）
◎国内外の消費地に求められる生産物等の出荷体制構築のコーディネート
●冷凍・冷蔵倉庫の整備促進
●効率的・効果的な輸送システムの確立促進

◎これらの取組を通じた法人化等による大規模化

(5) 次世代農業の推進

ロボット技術を活用した農薬散布



省力化・効率化

熟練農家の技術をデータで蓄積

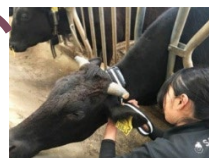
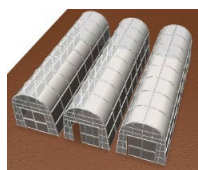


農業の精密化
高品質生産

新たな担い手が
参入しやすい
環境を整備



日射量・温度・湿度などに対応した施設内環境の自動管理やデータの蓄積



ICTで電子台帳と各種センサ（活動量・体温）を連動
発情や出産兆候、異常等をスマホ等で把握し、個体及び群管理に利用

生産性の
向上



販路の
開拓・拡大



2 地域特性を生かした企業立地促進による雇用の創出

【地域特性】

全国トップクラスの
産出額を誇る農林水産業

- ・「スポーツのまち かのや」
- ・鹿屋体育大学や県民健康プラザ
などの優れたスポーツ関連施設
の集積

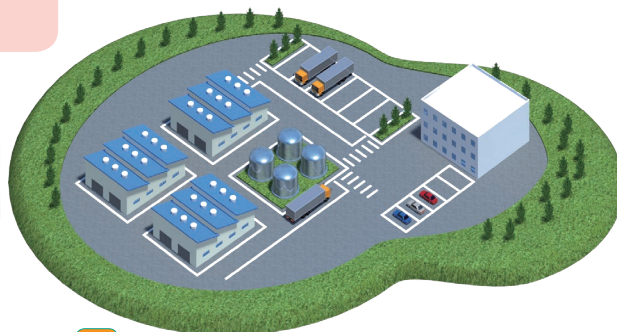
新たな工業団地の整備

● 地域の特性・特徴を踏まえた地域産業を牽引する企業の誘致

- ・農林水産業関連企業（食品製造・加工業）
- ・スポーツ・健康関連企業 など

● 物の集積・物流機能の確保

- ・民間事業者との連携



- 企業誘致による新たな雇用の場の創出
- 商工業の振興や起業・創業の促進等による地域産業の活性化



高校生など、若年者の雇用

Uターン者の受け皿

定住の促進

「いつでも訪れやすいまち」の取組イメージ

交流人口増加による地域活性化

－ 地域資源活用型 －

グリーンツーリズム

- ・農林漁家民宿開業への支援
- ・民泊による修学旅行の受入拡大
- ・農林漁業体験プログラムの充実



美しい海岸線

- ・海岸線に点在する資源（ユクサおおすみ海の学校、荒平天神等）の活用
- ・マリンスポーツの推進
- ・霧島ヶ丘公園とのネットワーク化

戦争遺跡

- ・平和学習ガイドの活用と養成
- ・旧海軍特別攻撃隊にゆかりのある自治体間の連携

登山・トレッキング

- ・登山環境の整備（高隈山、吾平中岳等）
- ・登山ガイドの活用と養成



「東京オリンピック・パラリンピック」ホストタウンによる交流推進

- ・相手国とのスポーツ交流の推進
- ・相手国からのインバウンドの促進

－ スポーツ活用型 －

スポーツ合宿 ・大会の推進

- ・スポーツコミッションや鹿屋体育大学と連携した合宿誘致
- ・おもてなし体制の構築
- ・トップアスリートによる教室の実施

自転車による まちづくり

- ・シエルブルー CielBleu 鹿屋との連携強化
- ・サイクリストにやさしい環境づくり
- ・サイクルイベント実施



「かごしま国体・かごしま大会」による活性化

- ・誘客やおもてなしの推進
- 【鹿屋市開催種目】
バレーボール（成年女子）、自転車競技（ロード）、ボート、スポーツウエルネス吹矢（デモンストラーション）、バレーボール（精神障害）



賑わいと経済効果を生む地域づくり

－ 大隅地域が一体となった誘客（観光）の推進 －



飲食・グルメ



観光・体験



歴史・文化

（株）おおすみ観光未来会議を中心とした広域観光の推進

- ・多様な関係者との合意形成
- ・マーケティング調査・分析
- ・観光ルートの開発・商品化
- ・情報発信とプロモーション

鹿屋市の役割

- ・観光プロモーションの実施
- ・観光施設等の整備、魅力向上
- ・各種支援制度の構築



「子育てしやすいまち」の取組イメージ

未来を担う人材育成のための環境づくり

ALT による英語授業



鹿屋寺子屋での体験活動

学力・体力の向上

- ・学習の基盤づくりの推進
- ・英語教育の推進
- ・教職員の指導力の向上
- ・小中連携・一貫教育の推進
- ・鹿屋体育大学と連携した取組の推進

児童・生徒の学力の向上

教職員の資質・能力の向上

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業づくり
- ・研究成果を地域に波及させるための他校教員との連携
- ・授業公開による教師の学び合いの推進

鹿児島県総合教育センター
研究提携校を中核とした取組

社会教育・家庭教育の充実

- ・保護者や地域住民と連携した取組の推進（地域学校協働活動）
- ・読書活動の推進
- ・郷土の特色を生かした教育の推進

教育環境の整備

- ・ICT教育の充実
- ・学校規模適正化の推進
- ・学校施設老朽化対策の推進



- ・（仮称）北部学校給食センターの整備
- ・空調設備の整備 など



未来を担う心豊かでたくましい人づくり

鹿屋女子高等学校の活性化

～ 鹿屋女子高等学校みらい
創造プランの推進～



1 多様な進路の実現

- ・総合選択制の導入により、学科の枠を越え、希望する授業の選択
- ・地域のプロが講師となり、専門的な知識や技術を指導

2 特色ある活動の実践

- ・県内高校トップクラスのICT教育環境の整備
- ・ALT配置による実用的な英会話教育の推進

3 地域連携と貢献

- ・イベントへの参加や販売実習などを通じた地域との連携
- ・地域でのイベント開催により、自らの学びを還元し、地域貢献の意義を学習

4 キャンパスライフの充実

- ・快適で居心地の良い学習環境や設備、機能的で魅力ある新校舎の建設
- ・地域と連携した部活動の充実と強化
- ・大隅地域内外からの入学希望者の受入支援

5 親しまれる学校づくり

- ・SNSの活用やホームページのリニューアルなどによる積極的な魅力発信
- ・小中学校と連携したイベントの推進

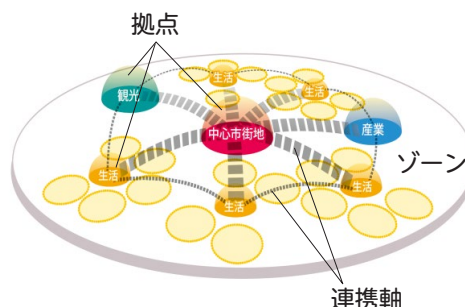
「未来につながる住みよいまち」の取組イメージ

多極ネットワーク型コンパクトシティの推進

多極ネットワーク型コンパクトシティの実現にあたっては、都市構造を構成する要素（点・線・面）を組み合わせ、ランドデザインを描きます。

点 【拠点】	・中心市街地や周辺地域に必要な都市機能や生活機能が集約した地区 ・観光や産業等、地域の特性を生かした地区
線 【連携軸】	・拠点と拠点との交通を効果的に連携させる軸
面 【ゾーン】	・多くの人が集まる都市的なゾーンや豊かな自然環境、営農環境を保全・活用するゾーン等、土地利用のあり方を示すおおまかな区分

【将来都市構造イメージ】



鹿屋市の将来都市構造図

【中心拠点】

- 寿・西原地域を含む中心市街地
- 行政施設や商業・業務施設、教育・文化施設、医療施設、福祉施設等の都市機能が集積し、市全体の生活を支える拠点

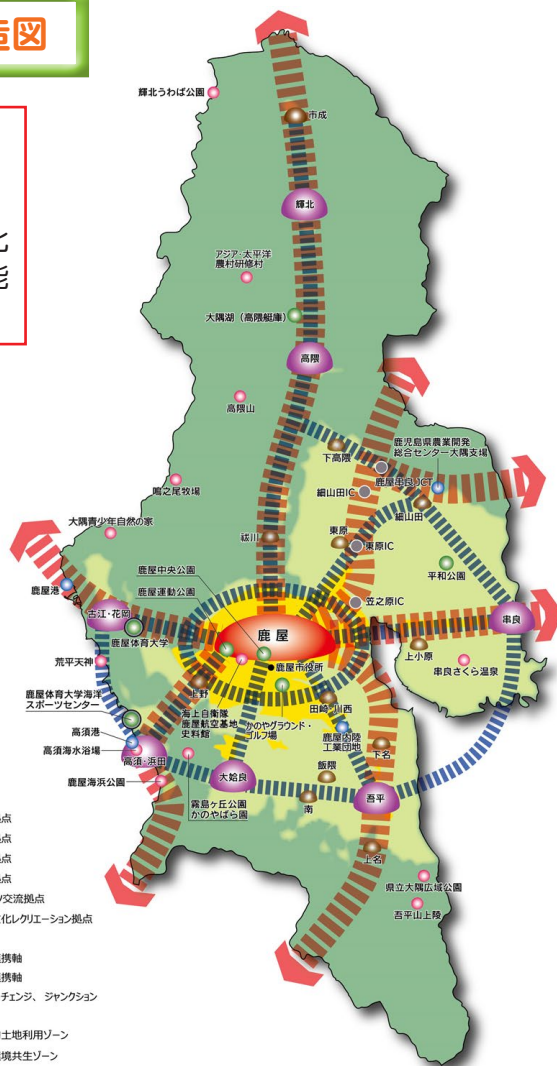
【地域拠点】

- 輝北・串良・吾平の各総合支所、高隈・大始良・高須・花岡の各出張所の周辺
- 各地域の中心として身近な生活を支える生活利便施設が集積し、周辺の生活拠点や集落の生活を支える拠点

【生活拠点】

- 市成出張所や田崎・野里・祓川・東原・細山田・大黒・上小原・下名・西俣・南・鶴峰の各小学校等の周辺
- 主に集落の中心として生活に必要な食料品店、郵便局、公民館等の生活利便施設が集積し、周辺の集落の生活を支える拠点

- 凡例
- 中心拠点
 - 地域拠点
 - 生活拠点
 - 産業拠点
 - スポーツ交流拠点
 - 観光文化レクリエーション拠点
 - 広域連携軸
 - 地域連携軸
 - インターチェンジ、ジャンクション
 - 都市的土地利用ゾーン
 - 田園環境共生ゾーン
 - 自然環境共生ゾーン

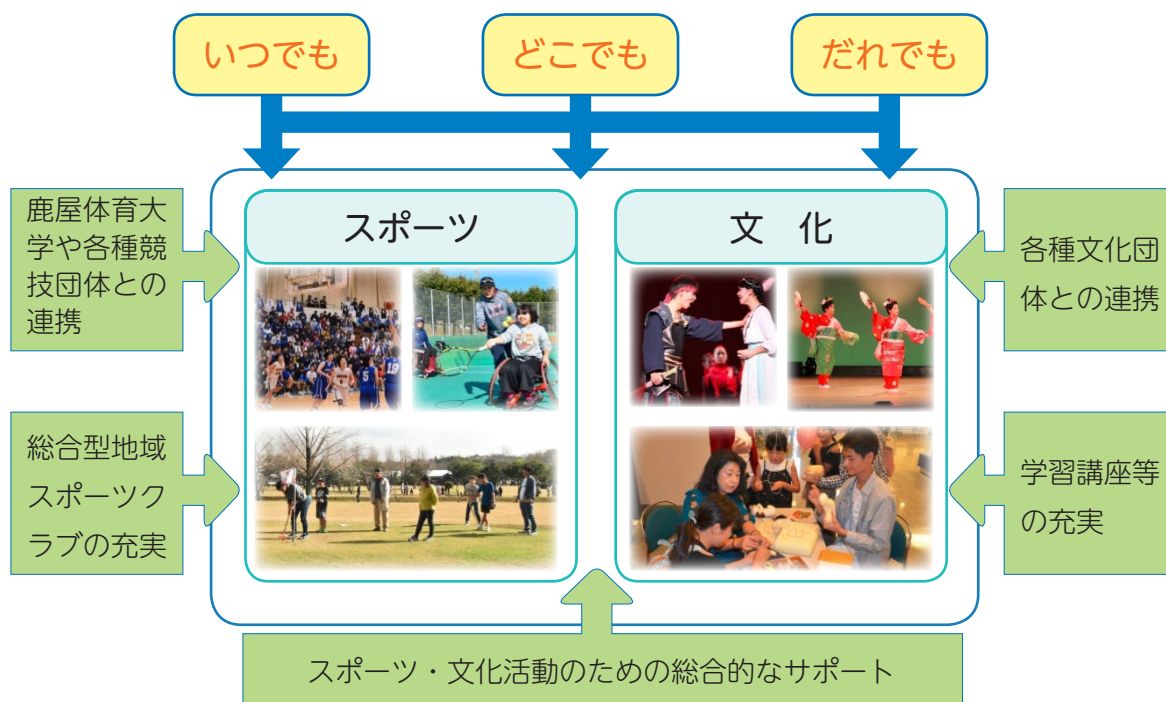


「ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち」の取組イメージ

ひとり1スポーツ1文化活動の推進

すべての市民が気軽に取り組める
スポーツ・文化活動の環境づくり

スポーツや文化活動を通じて、市民が健康で豊かな生活を送り、ライフステージに応じた多様かつ自主的な活動が行える環境づくりに取り組みます。



スポーツ関係施設再配置計画の推進



スポーツ交流施設：県レベルの大会が開催され、広域的な使用が行われる高規格・大規模施設

スポーツ施設：市内大会等が開催され、地域のスポーツの拠点となる施設

運動施設：手軽にスポーツや運動、レクリエーションに使用される身近な施設

すべての市民がスポーツ・文化活動に関わる機運の醸成

する

みる

ささえる

市民の
生きがいがづくり

健康寿命の延伸

ひとが元気！
まちが元気！
「未来につながる
健康都市 かのや」

市政運営と計画の推進



厳しい社会情勢にあっても、世代間負担の公平性・平準化を図りながら、経営的な視点による更なる行財政改革の推進や時代に即した簡素で効率的な組織機構の整備などを一層推進させ、安定した市政運営を図ります。

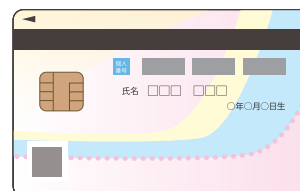
1 効率的・効果的な行政サービスの提供

- ① 行財政改革の推進
- ② デジタル・ガバメントの推進
- ③ マイナンバー制度の推進
- ④ AI 等の導入



2 健全な財政運営

- ① 事業の選択と集中
- ② 地方債残高の縮減
- ③ 積立基金の確保



3 財源確保のための取組

- ① 収納方法の利便性向上
- ② 市税等の徴収率の維持向上
- ③ ふるさと納税の推進
- ④ 施設使用料の見直し
- ⑤ 新たな財源の確保



4 公共施設マネジメントの推進

- ① アクションプランの整備・運用
- ② 公共施設マネジメントの適切な推進

5 広域行政の推進

- ① 大隅地域における広域行政の充実・強化
- ② 都市間交流の推進

6 市職員の人材育成の推進

- ① 職員の資質及び能力の向上
- ② 組織力向上に向けた、より良い人材の確保と適正な人員配置
- ③ 人を育てる環境づくり

7 わかりやすい情報提供

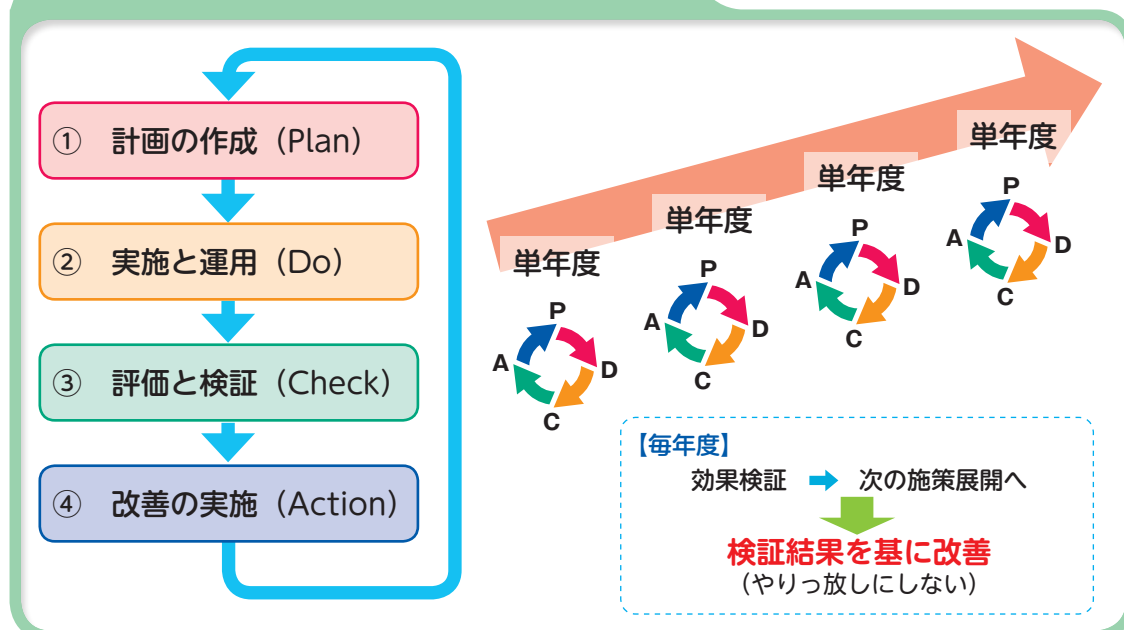
- ① 電子媒体を活用した市政情報の発信力強化
- ② あらゆる世代にわかりやすい広報づくり
- ③ 市民の声を市政に反映



8 計画の効果検証と改善

- ① PDCA サイクルによる検証と改善
- ② 内部評価と外部評価

PDCA サイクルのイメージ



9 SDGs 達成に向けた取組の推進

